

## 令和4年度 目的事業報告書

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事業名                 | 落語と絵本のアニューアレ～三題噺王決定戦～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2. 事業内容                | 上方落語協会所属の若手噺家10名が披露する新作三題噺から着想を得た「はなし画」により、絵本の夢を追いかけるコミュニティのイベント。1stラウンドは 9/24 北区民センターで開催、多世代約200名の聴衆が訪れ大いに盛り上がり決勝進出 6 名の落語家を選んだ。「はなし画」1次審査は 12/3。12/11 には同・2 次審査を実施。全50余名・150 作品から 10 名・30 作品を選定、それら優秀作品は「記念画集」に収めた。翌 1/27には天満天神繁昌亭で「三題噺王決定戦」が開催され、三題噺王を決定し表彰するとともに、「はなし画」作者の表彰式も同時開催した。2/22 には大淀コミュニティセンターで「はなし画」原画展を自主事業の「ふれあい絵本ひろば」と同時開催した。 |
| 3. 実施日<br>実施場所         | ○令和4年9月24日(土)「落語と絵本のアニューアレ～三題噺王 1stラウンド～」<br>(実施場所:北区民センター ホール)<br>○令和4年12月3日(土)「はなし画」1次審査会<br>(実施場所:一般財団法人大阪市コミュニティ協会)<br>○令和4年12月11日(日)「はなし画」2次審査会<br>(実施場所:大淀コミュニティセンター ホール)<br>○令和5年1月27日(金)「落語と絵本のアニューアレ～三題噺王決定戦～」<br>(実施場所:天満天神繁盛亭)<br>○令和5年2月22日(水)「はなし画」原画展(※「ふれあい絵本ひろば」と同時開催)<br>(実施場所:大淀コミュニティセンター ホール)                               |
| 4. 来場人数                | 延べ約300名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 5. 出演・審査・協力など<br>(敬称略) | ・(公社)上方落語協会・会長 笑福亭仁智<br>桂三幸/森乃石松/桂ぼんぼ娘/桂小鯛/桂和歌ぼん/桂福点/桂鞠輔/桂あおば/<br>桂慶治朗/桂三実<br>・笑福亭仁智/演芸ジャーナリスト・やまだりよこ/大阪大学大学院 工学研究科環境エネルギー工学専攻准教授・福田知弘/SPACESPACE 建築家・ツキイチ屋台女将 岸上純子/偕成社販売部取締役特販部長・西川稔/ロクリン社・中西洋太郎/繁昌亭マネージャー<br>・大道意匠研究舎/株式会社シンカ・コミュニケーションズ                                                                                                      |
| 6. 次年度の展望              | 「はなし画」の応募者において、コミュニティからの参加を募る工夫をさらに重ね、コミュニティ・イベントとしての実績を高めていく。なお、「原画展」ではホームページを活用した公開スタイルの方が「支持を得られやすい」との考え方もあり、リアル展示にこだわる必然性は、「この領域」において極めて低減しているものと考えられる。これら全般の課題を総合的に検証し、次年度開催に向け検討を重ねていく。                                                                                                                                                   |

添付資料① 当日写真

＜「落語と絵本のアニヴァーレ～三題噺王 1st ラウンド～」(9月24日@北区民センター)＞



＜「はなし画」2次審査会(12月11日@大淀コミュニティセンター)＞





＜「落語と絵本のアニユアーレ～三題噺王 決勝ラウンド～」(1月27日@天満天神繫昌亭)＞



<「はなし画」表彰式(令和5年1月27日@天満天神繁盛亭)>



<「はなし画」原画展(令和5年2月22日@大淀コミュニティセンター)※ふれあい絵本ひろばと同時開催>





## 添付資料② チラシ

＜「落語と絵本のアニユアーレ」(9月24日@北区民センター)＞

・表1 及び表4

落語を聴いて、味わって、描く『はなし画』募集！表彰者には「記念賞」が贈られます！

### めざせ絵本のアニユアーレ・三題噺王

「はなし画」審査員

西川 綾  
情報社・取締役

中西洋太郎  
クラリネット・演奏者

やまだりよこ  
演劇ジャーナリスト

岸上純子  
情報社・メディア制作会社

笑福亭仁智  
上方落語協会会長 (審査員)

豊田昌雄  
北海道新聞社・ディレクター

※主催：(一財)大宮市コミュニティ振興局・落語コミュニティ研究会  
主会場：北区民センター  
共催：大宮市コミュニティセンター

※後援：(一財)大宮市コミュニティ振興局  
大宮市振興局

絵本の夢を追いかける  
「はなし画」コンテスト！

「はなし画」コンテストは、3つのテーマから新しい落語を誕生させる「三題噺」から3シーンの絵「はなし画」を公開する「絵本の夢を追いかける」イベントです。

※「アニユアーレ」は本日より受付中！1回も参加します。

## 落語と絵本のアニユアーレ 2022

入門20年までの新入・10名による、「三題噺王」への物語をお楽しみください！！

## 落語と絵本のアニユアーレ 2022

# 三題噺王決定戦

### 1st ラウンド

様 三郎

田乃 ちか

様 ほんは

様 小

様 三郎

様 福

様 鈴

様 あお

様 福

様 三郎

〈総合プロデューサー〉公益社団法人 上方落語協会 会長 笑福亭仁智

### 「はなし画」作品募集

自由な表現で、落語を絵本に！

募集期間：令和4年10月1日(土)～11月25日(金)

詳細はホームページをご覧ください。  
[annuile.net](http://annuile.net)

お問い合わせ  
事務局：(一財)大宮市コミュニティ振興局  
〒341-0035 大宮市中央区新栄1-3-2-302  
連絡先：info@annuile.net  
※応募要項に注意してください。

## 観覧無料！

詳細は中面をご覧ください！

# 9月24日(土)

13:00～15:30 (12:30開場)

会場：北区民センター

〒114-8501 大宮市北区高町2丁目1-2



＜「落語と絵本のアニュアルレ～三題噺王～」&「はなし画」表彰式(1月27日@天満天神繁盛亭)＞

年に一度の大勝負!!

落語と絵本のアニュアルレ 2022

# 三題噺王決定戦

## 決勝ラウンド



森乃  
石松



桂  
小間



桂  
慶治朗

●2022年9月24日開催の「1stラウンド」通過者による決勝戦●出演順は当日抽選にて決定します●「はなし画」コンテスト表彰式も同時に開催!

＜総合プロデューサー＞  
公益社団法人 上方落語協会 会長  
笑福亭仁智

2023年  
**1月27日(金)**

18:00～(開場17:30)

会場:天満天神繁昌亭

※終演予定時刻 20:40ごろ

**前売 ¥2,500**  
(当日 ¥3,000)

[全席指定・税込]

※未就学児の入場不可

【前売所】

チケットぴあ Pコード597-700

(セブンイレブン・t.pia.jp)

繁昌亭チケット窓口(11:00～19:00 / 窓口販売のみ)

＜チケット・会場に関するお問い合わせ＞

天満天神繁昌亭 ☎06-6352-4874

※感染予防対策として

- マスク着用の上、ご来場願います。
- 入場時の検温、消毒にご協力ください。(体調不良の場合はご遠慮いただきます)



桂  
ぽんぽ娘



桂  
あおば



桂  
三実

●天満天神繁昌亭(大阪市北区天神橋2-1-34)



- 地下鉄谷町線/堺筋線「南森町駅」4-15出口
  - JR 東西線「大板天神宮駅」7番出口
- 各徒歩3分

公式ホームページもご覧ください! /

<https://annuale.net/>

主催:天満天神繁昌亭/(公社)上方落語協会

共催:大淀コミュニティセンター/北区民センター/(一財)大阪市コミュニティ協会/同・都市コミュニティ研究室

めざせ絵本・三題噺王  
落語と絵本のアニュアルレ



## 同時開催イベントのご案内

人形劇「たまねぎちゃん ジャがいもちゃん にんじんちゃん」他

1日2回公演(1回約20分) ①午後1時30分～/②午後2時30分～

会場:大淀コミュニティセンター ホール



### 助産師さんが教えてくれる ベビーマッサージ

時間:①午後1時30分～/②午後2時25分～(1回45分)

場所:大淀コミュニティセンター 和室

定員:各回6組(先着順・申込優先)

参加費:無料

講師:ふじた まゆみ(助産師・栄養士・保育士)

#### 【講座内容】

#### ①導入・自己紹介

参加者全員で自己紹介をしていただきます

#### ②ベビーマッサージ

赤ちゃんの動作の発達を見込んだベビーマッサージを行います

#### ③個別相談・質疑応答

参加者の方の問題解決のための時間を提供します

#### 【申込方法】

電話 または QRコード(右記)から

必要事項を記入してご応募ください。

申込多数の場合は抽選を行います。



### “はなし画”展示

### ～「落語と絵本のアニヴァーレ/2022」～

「落語と絵本のアニヴァーレ」というイベントで披露された落語の“はなし”  
をもとに、絵本風に描かれた作品を50点展示します。さまざまなタッチの  
150枚の画が織りなす、面白おかしい落語の世界をお楽しみください。

添付資料③ 落語と絵本のアニュアルレ 2022 三題噺王決定戦 1st ラウンド アンケート集計

落語と絵本のアニュアルレ2022 三題噺王決定戦 1st ラウンド アンケート集計

|            |     |
|------------|-----|
| Q1.あなたの年齢は |     |
| 1 20歳未満    | 22  |
| 2 20歳代     | 12  |
| 3 30歳代     | 10  |
| 4 40歳代     | 15  |
| 5 50歳代     | 43  |
| 6 60歳代     | 27  |
| 7 70歳代     | 24  |
| 8 80歳代以上   | 4   |
| 合計         | 157 |



|             |     |
|-------------|-----|
| Q2.あなたのお住いは |     |
| 1 北区        | 30  |
| 2 都島区       | 7   |
| 3 福島区       | 2   |
| 4 此花区       | 2   |
| 5 中央区       | 6   |
| 6 西区        | 1   |
| 7 港区        | 0   |
| 8 大正区       | 3   |
| 9 天王寺区      | 0   |
| 10 浪速区      | 0   |
| 11 西淀川区     | 2   |
| 12 淀川区      | 2   |
| 13 東淀川区     | 7   |
| 14 東成区      | 1   |
| 15 生野区      | 2   |
| 16 旭区       | 1   |
| 17 城東区      | 2   |
| 18 鶴見区      | 1   |
| 19 阿倍野区     | 5   |
| 20 住之江区     | 3   |
| 21 住吉区      | 6   |
| 22 東住吉区     | 1   |
| 23 平野区      | 2   |
| 24 西成区      | 5   |
| 25 大阪市内不明   | 5   |
| 大阪市内        | 66  |
| 30 大阪市以外    | 61  |
| 0 回答なし      | 0   |
| 合計          | 157 |



|                   |     |
|-------------------|-----|
| Q3.本事業をご覧になったご感想は |     |
| 1 たいへんよかった        | 105 |
| 2 まあまあよかった        | 36  |
| 3 あまりよくなかった       | 0   |
| 4 よくなかった          | 0   |
| 5 その他…記述あり        | 2   |
| 0 回答なし            | 14  |
| 合計                | 157 |



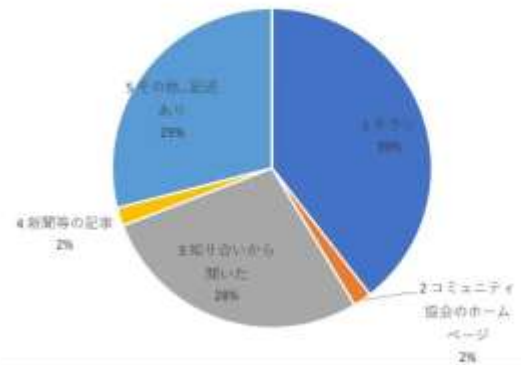
|                            |                 |     |
|----------------------------|-----------------|-----|
| Q4.本事業を何でお知りになりましたか（複数回答可） |                 |     |
| 1                          | チラシ             | 64  |
| 2                          | コミュニティ協会のホームページ | 3   |
| 3                          | 知り合いから聞いた       | 45  |
| 4                          | 新聞等の記事          | 3   |
| 5                          | その他…記述あり        | 47  |
| 0                          | 回答なし            | 0   |
|                            | 合計              | 162 |

|                    |             |  |
|--------------------|-------------|--|
| Q5.三鞭王決定戦に参加したいですか |             |  |
| 1                  | 是非とも参加したい   |  |
| 2                  | 都合が良ければ参加する |  |
| 3                  | 参加しない       |  |
| 4                  | わからない       |  |
| 0                  | 回答なし        |  |
|                    | 合計          |  |

|                                   |        |     |
|-----------------------------------|--------|-----|
| Q6.新型コロナウイルス感染症対策についての満足度はいかがでしたか |        |     |
| 1                                 | たいへん満足 | 58  |
| 2                                 | 満足     | 95  |
| 3                                 | 不満     | 2   |
| 4                                 | たいへん不満 | 1   |
| 0                                 | 回答なし   | 1   |
|                                   | 合計     | 157 |

|                    |      |  |
|--------------------|------|--|
| Q7.その他感想があれば記入ください |      |  |
| 1                  | 記入あり |  |
| 0                  | 記入なし |  |

Q4.本事業を何でお知りになりましたか



Q6.新型コロナウイルス感染症対策についての満足度はいかがでしたか



添付資料④「落語と絵本のアニユアーレ」(9月24日)アンケートご意見欄

- はじめて落語を聞きました。とてもおもしろかったです。
- はじめて、落語を生で見れておもしろかったです。
- 新たなもよおしで良かったです。落語のテレビ放送少ないのもっと番組してほしいです。
- 会場の案内者や係員が少なかった。空調が寒すぎたり、後半暑かったりで残念。席の配置が見にくく残念
- 落語ってどんなのか知らなかったけどおもしろかった。お年寄りの人向けのイメージだったけど 10 代の私でも友だちと一緒に楽しめました。
- また、こういう落語会があれば機会があれば来たいです。
- 落語をちゃんと見たのは初めてだったけど、意外におもしろくて興味がわきました。
- 絵本のアニユアーレという割には噺を絵にしにくい話が多かった。その点だけが残念でした。
- 落語を生で見るのはなかなかないのでよかった。「落語」が子供の小学校の教科書にもものっているのわかりやすいものがいいいですね。
- 思ってたのと違い、三題噺を取り込んだ新作落語になっていてたいへんよかった。頭に浮かんだ情景が絵本になるのが楽しみです。
- よかったのでこれからも続けてほしいと思います。
- チラシを見てこのイベントを知りました。異なるジャンルの方々のコラボ大変楽しいので今後も続けていただけたらと思います。
- 上は空間があるけど下は密。出入り禁止テープを貼るなどしてドアはあるていど開放したほうが良い。入場時から静かに会話を控えるようなアナウンスすべき

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事業名         | 謎解きゲーム&北区ウルトラ〇×クイズ                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2. 事業内容        | <p>約3年の新型コロナ感染拡大による「友だち」、「住民」、「地域」とのコミュニティ不足を解消しコミュニティを図ると共に、地域の活性化や施設利用の増加促進を図る目的で開催した。北区の小学3年生～小学6年生を対象に2名1組で参加者を募り、「北区にまつわる〇×クイズ」では、ペアが一丸となって北区にまつわるクイズに解答してもらい、「謎解きゲーム」では中級・上級・超上級の謎解き問題を解き明かし、2つの総合点を競う内容で実施した。</p> <p>〇×クイズについては地域のまち歩き等の活動を行っているヤジ馬ヤジ北の方に問題の監修・当日の解説を依頼した。</p>                      |
| 3. 実施日<br>実施場所 | 12月26日(月) 午後1時30分～午後4時<br>大淀コミュニティセンター・ホール                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 4. 来場人数        | 延べ 17組34名                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 5. 協力          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・謎解き問題作成及び解説:ハチワレ謎解き団 彦阪舞子様、莉玖様</li> <li>・北区ウルトラ〇×クイズ解説:ヤジ馬ヤジ北 松田真一様</li> <li>・北区子ども会育成連合協議会</li> </ul>                                                                                                                                                             |
| 6.次年度の<br>展望   | <p>参加者目標 30組に対して、応募は20組でしたが、当日、コロナ感染や病気によるキャンセルがあり、実績は17組の参加となった。北区内の小学校へチラシを通送・配架を依頼したが、校区があり大淀コミュニティセンターがある校区内の小学生のみの参加となった。来年度は、多くの小学生が参加できるように北区内地域へのチラシ配架をし、回覧を活用した情報の拡散を図りたいと考えている。</p> <p>また、アンケート結果で内容が難しかったという声が多く見られたため、次年度は幅広い年代の子どもたちが気軽に参加でき、自分たちの住む地域のことを始め、様々なことを楽しく学ぶことができるような内容を検討する。</p> |

添付資料⑤ 当日写真



チーム対抗

# 謎解きゲーム & 北区ウルトラ○×クイズ!!

?

謎解きゲーム

3つの脱出ゲームの謎を  
解き明かしてもらいます

参加  
無料

北区ウルトラ○×クイズ

北区にまつわる○×クイズに  
挑戦してもらいます



2種類の問題に  
挑戦だ!!

日時

2022年12月26日(月) 午後1時30分~午後4時

場所

大淀コミュニティセンター・ホール

参加条件

小学3年生~小学6年生 2人1組

応募定員

30組 (応募多数の場合は抽選で決定します。予めご了承ください)

応募方法

- ・必ず、保護者の同意書が必要です。
- ・北区民センターもしくは、大淀コミュニティセンターのホームページの  
応募専用フォームから2人1組で応募下さい。
- ・電話、FAX、来館でも受け付けます。

(FAXの場合は、住所、氏名、年齢、保護者の連絡先を記載して下さい。)



スマホの方はこちらから!!

賞品と参加賞もあるヨ~

応募締切は  
12/18(日)  
午後5時まで

主催：(一財)大阪市コミュニティ協会北区支部協議会 協力：北区子ども会育成連合協議会  
お問い合わせ先：北区民センター (大阪市北区扇町2-1-27) 電話:06-6315-1500 FAX:06-6367-1990

チーム対抗

# 謎解きゲーム & 北区ウルトラ○×クイズ!! 練習問題

北区は大阪市の中で一番北にある？

〈答えは右下〉



or



日時：2022年12月26日(月)午後1時30分～午後4時

場所：大淀コミュニティセンター・ホール

応募について

参加条件：小学3年生～6年生 2人1組／応募定員：30組

・必ず、保護者の同意書が必要です。

・北区民センターもしくは、大淀コミュニティセンターのホームページの応募専用フォームから2人1組で応募下さい。

・電話、FAX、来館でも受付けます。

(FAXの場合は、住所、氏名、年齢、保護者の連絡先を記載して下さい。)

応募締切は  
12/18(日)  
午後5時まで



スマホの方はこちらから!!



答え：× (さらに北に淀川区があるよ！)

添付資料⑦ 「謎解きゲーム&北区ウルトラ〇×クイズ」アンケート集計結果

| 設問                                 | 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Q1:お住まいはどちらですか？                    | ・大阪市北区:26名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Q2:参加された年齢(学年)は？                   | 12歳(小学6年生):1名 / 11歳(小学6年生):1名 /<br>11歳(小学5年生):3名 / 10歳(小学4年生):8名 /<br>10歳(小学5年生):1名 / 9歳(小学4年生):2名 /<br>9歳(小学3年生):9名 / 8歳(小学3年生):1名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Q3:今回の催しに参加された満足度は何点ですか？(※10点満点)   | ・10点:10名 ・9点:2名 ・8点:3名 ・7点:2名 ・6点:1名<br>・5点:2名 ・4点:1名 ・2点:2名 ・1点:1名 ・0点:1名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| Q4:上記の点数をつけた理由をお聞かせください            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもしろかったけど、少し難しかった。</li> <li>・とても楽しく満足した。</li> <li>・いろいろな事が学べた。</li> <li>・難しくて、こんなに頭を使ったのは久しぶりで楽しかった。</li> <li>・〇×クイズが楽しかった。</li> <li>・0点で悔しかった。</li> <li>・少し楽しかった。2位で悔しかった。</li> <li>・全部正解できなくて悲しかった。</li> <li>・〇×クイズ、謎解きも私たちが分かる位の難しさで楽しかった。</li> <li>・ちょうど良い難しさでした。</li> <li>・楽しかったけど、謎解きゲームで間違ったから6点にしました。</li> <li>・次あれば、チャレンジということで絶対参加します。</li> <li>・いろいろな謎解きがあって楽しかった。</li> <li>・優勝できず悔しいところもあり9点にしました。</li> <li>・謎解きが解けたときは、スッキリしました。</li> <li>・もう少し、簡単にしたい。</li> <li>・難しくて、楽しくなかった。</li> </ul> <p>以上、全回答</p> |
| Q5:今回の催しを何でお知りになりましたか？             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・北区広報紙「わがまち北区」:3名</li> <li>・知り合いから聞いた:1名 ・チラシ(学校):21名</li> <li>・ホームページ:1名</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Q6:次回、また参加したいですか？                  | ・参加したい:18名 ・参加しない:3名 ・検討する:5名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| Q7:今後、開催してほしい催し(事業)など、ご意見をお聞かせください | <ul style="list-style-type: none"> <li>・謎解きを月1回開催して欲しい:6名</li> <li>・今回の内容を4か月に1回開催して欲しい:1名</li> <li>・ドッジボールやサッカー:3名</li> <li>・漢字クイズ:2名 ・スポーツイベント:1名</li> <li>・大阪府の戦国時代クイズ:1名 ・歴史、世界史、地理クイズ:1名</li> <li>・夏祭り:1名 ・無回答:9名</li> </ul> <p>以上、全回答(複数回答あり)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.事業名    | キタのまちのニュースレター＜北区ふるさと・地域間交流＞                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2.事業内容   | <p>商業施設の更新やホテル増などによる、まちの様変わりと「まちの記憶」に着眼し、特にマンション居住者が9割を超える北区の現状や今後も増加する都心居住者らに「新しいコミュニティ」へのヒントになり得るような「たのしみ」や「行動をとともにする地区生活者の話」などを中心に構成したニュースレターを発行した。各号では地域コミュニティに関する様々な分野の専門家に執筆を依頼し、北区の魅力を多面的に発信した。また、北区内ばかりではなく、北区に立地する道県事務所など広域交流が可能な取材先も取り込んだ。</p> <p>さらに、新たにコミュニティに参入したいと考えている方が地域の情報を得られるように多くの方に届けるキタの情報を発信した。</p>                                                           |
| 3.発行     | <p>No.4:2022(令和4)年春・夏号</p> <p>No.5:2022(令和4)年夏・秋号</p> <p>No.6:2022(令和4)年秋・冬号</p> <p>No.7:2023(令和5)年冬・春号</p>                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 4.発行部数   | 各 16,000 部                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 5.編集・発行  | 北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 6.次年度の展望 | <p>北区在住・在勤の人が寄稿できる「北区つぶやきコーナー」を設け、北区の人のリアルな声を取り入れる。実際に住んでいる人の気づきを取り入れることで、共感できる人たちによる新たなコミュニティづくりの橋渡しを目指す。参加型コンテンツを作ることで、新たな読者の発掘ができ、年間を通してのニュースレターのイメージをつかむことが出来る。</p> <p>それに加えて、北区民センターや大淀コミュニティセンターの事業などの情報を発信・周知するとともに、地域コミュニティに関する様々な分野の方やご利用頂いた地域団体に出稿協力を依頼し、北区に寄り添い北区の魅力を発信し続ける。</p> <p>そして、地域住民の皆様には北区民センターや大淀コミュニティセンターが「気軽に」「いつでも」「誰とでも」「地域コミュニティの場」として利用頂けるような利用促進を図る。</p> |

KITA NO MACHI NO NEWS LETTER

No.4 2022  
春-夏号

# キタのまちのニュースレター



大淀のフラ受講生によるステージ

## 『マナビバ フラ カンファレンス』とは？

『マナビバ』というイベントは、多様な視点で地域コミュニティへの交流や発見、そのきっかけづくりを目指すイベントです。今回はハワイ文化の『フラ』と、日本文化の『浪花百景』（ニュースレター No.3/P2で詳報しています）による異色のコラボが行われました。一見すると共通点がない2つですが、実はどちらも“自分が暮らしている地域に関心を向ける”という部分で繋がっていました。

そもそもみなさんは『フラ』とは何かをご存知でしょうか。実は『フラ』とはハワイ語で“踊り（ハワイアンダンス）”のことを指しています。だから私たちがよく口にする『フラダンス』は、“ダンス・ダンス”という意味と同じだそうです（「ダンス」を付記する場合もあります）。

2日間行われた『マナビバ』では、ハワイの歴史講座や『フラ』に使うシュシュ作りを通して、貴重なハワイ文化に触れることができます。また、ステージのダンスパフォーマンスでは曲ごとに解説が付き、踊りや歌に込めた意味が初めての人でもわかるように語られました。そうして



ハワイの歴史を学ぶワークショップの様子

大淀コミュニティセンターでは、フラの講習会が実施されています。どなたでもお気軽に参加できますので、詳細が気になる方は右記までご連絡、またはホームページをご確認ください。



会場では多種多様なレイが陳列されました



フラには欠かせない手作りシュシュの体験も



最後は会場全体で「ハワイアロハ」を歌いました

同日に展示されていた『浪花百景』は、江戸後期の大阪の風景を描いた作品。こちらは原画を拡大して大きなタペストリーの形で展示しており、細かな部分まで見やすくなっていました。描かれた場所を見て、現在と異なる風景や変わっていない場所を発見すると、自然とその土地への愛着や興味が湧いてきます。実際に訪れた方々も食い入るように絵を眺めていました。

なぜこの風景が描かれたのか、なぜこのような振り付けなのか、そういった疑問を歴史から学び体験することで、“自分が暮らす身近な場所への関心”という共通点を発見することができたのではないのでしょうか。異分野の交流から互いの共通点を見つけることができれば、新たな興味や発見に繋がるかもしれません。皆様もそんなイベントへぜひご参加ください。

### ■大淀コミュニティセンター フラダンス講習会 令和4年度受講生募集中！

受付：大淀コミュニティセンター事務所窓口、  
お電話やFAXでも受付いたします。

TEL: 06-6372-0213 FAX: 06-6371-0107



## 扇町マナビバの試み

大淀&北区民センター便り  
子どもが楽しむ絵本のひろば

キタのまちのニューズレター編集室



3月20日、大淀コミュニティセンターで「絵本ひろば」が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で残念ながら2年連続中止という状況が続いていましたが、今年度は事前申込制・規模縮小という形ではありますが無事開催することができました。

会場となる大淀コミュニティセンターのホールには100冊以上の絵本が展示され、中には普段あまり目にするこくない大きな絵本や外国語の絵本もあります。参加して下さった子ども達は、皆たくさんの絵本に囲まれた空間の中を自由に歩き回っていました。きっと自分のお気に入りの一冊に出会うことができたのではないのでしょうか？

当日は同時開催でエブロンシアターやベビーマッサージ講座も行われ、たくさんの方々に参加して頂きました。ご来場頂いた皆様、そして開催に尽力して頂いた皆様、ありがとうございました。

大淀コミュニティセンターでは英会話教室やキッズダンス教室など、子どもたちが参加できる催しの場としてもたくさん利用して頂いています。新年度、新しいことを始めてみたい！そんな思いのお手伝いがきっとできると思いますので、ぜひ皆様大淀コミュニティセンターに一度お立ち寄り下さい！



## ツキイチ屋台から

## 私有地を上手に使う

建築家・ツキイチ屋台女将 岸上 純子

前号では、笹尾和宏さんの著書を紹介し「私的に自由にまちを使う—PUBLIC HACK」について書きましたが、実践された方はいらっしゃるでしょうか？ まち（公共）を私的に使うのは「ハードルが高いわ〜」という人も多かったかもしれません。なので、今回は「私有地」を上手に使うことについて書きたいと思います。

じつは私が行っている「ツキイチ屋台」、これは私有地の活用です。写真を見ただけでは「道（公共）を勝手に使っている」ように見えるかもしれませんが、この道は私道なんです。わが家はこの道の中心線までを所有しています。とはいえ、いろんな人々が行き来する生活動線でもあり、常に道を塞ぐような使い方はできません。しかしここは商店街でもあり「常時はみえない物ならOK」という暗黙のルールが昔からあります。そんなことから「使わない手はない！」と、ツキイチ屋台をはじめたのでした。

じゃあ、私もやってみたいけど私道ってそんなにあるの？と聞かれると、そう多くはありません。けれど、規模の大きなマンションなどに設けられている一般に開かれている私有地があります。「公開空地」です。

ご存じでしょうか？ これは「こうかいあきち」ではなく「こうかいうち」と読み、高層ビルやタワーマンションの足元にたくさんの樹木が植えられたオープンスペース。ありますよね？ みなさんの近所にもそういう場所。そう、公開空地は「敷地の一部を近隣住民などに開放するから、その代わりに容積率の割増しや高さ制限の緩和を認めてね」というものです。

従って、維持管理は区分所有者全員（管理組合等）が行わなければならない私有地のままですが、なかなか自由に使っているとは感じにくい場所となっています。

でもね、大阪市は公開空地の占用について営利を目的としないイベント、リクリエーション活動など、地域の活性化に寄与する行為（町会の催し、ミニコンサートなど）等が、市長の承認を得ればできるようになっているんです。自分のマンションの足元でミニコンサートとかあれば楽しいかもしれませんよね？ そんなイベントを企画するのはさすがに大変、、、ということであれば私に相談頂いてもいいですし（笑）、もっと簡単に「まずはご自身のマンションの公開空地」をご近所さんを誘ってハックしてみたいかがでしょうか？



大阪市HP 公開空地の占用について





# キタ歩き日本旅



佐賀県  
の巻

「大阪駅前ビル」には、47都道府県のうち約半数にもなる日本全国の「道府県事務所」がオフィスを構えています。少し大げさに表現すると『日本が大阪駅前ビルに勢ぞろい!』の風情です。SNS万能の時代ですが、全国各地の旅や物産の様子を「人肌感覚」で知ることができます。この連載は、旅する感覚で北区の大阪駅前ビルを訪ね、教えていただいた情報です。大阪駅前ビルの歴史も魅力的!「わが町の旅」としていかがでしょうか。



肥後名護屋城図屏風 (提供/佐賀県立名護屋城博物館)



黄金の茶室 (提供/佐賀県)



シーボルトの湯 (提供/佐賀県観光連盟)



武雄温泉元湯 (提供/武雄市観光協会)

大阪城を探索してから「佐賀県の旅はいかがですか?」と、佐賀県 関西・中京事務所の東さん。その心は……?

豊臣秀吉が、文禄・慶長の役(壬辰・丁酉倭乱1592~98)の拠点として名護屋城を築城し、全国諸大名の陣屋とともに人口20万人を超える日本有数の一大都市を誕生させたという「歴史の旅」……大阪と佐賀は秀吉つながりの「ご縁が深い」。唐津市の佐賀県立名護屋城博物館では、秀吉が京都の御所や大坂城などで使用し、名護屋城へも運ばせて茶会や外国使節の応接に使用した「黄金の茶室」が復元され、3月27日から公開されています。また、名護屋城を中心とした半径約3kmの圏内には、約160箇所もの大名の陣跡が確認されており、名護屋城跡の他23箇所の

陣跡が国の特別史跡に指定されています。この「歴史の旅」のスケールは壮大です。

いきなり大阪との歴史物語が飛び出した。これぞまさに「キタ歩き日本旅!」。今秋9月23日には西九州新幹線が開業の予定。新幹線「かもめ」が武雄温泉駅・嬉野温泉駅に登場し、佐賀への旅がより身近になりそうだ。

新たに新幹線駅が誕生する嬉野市の特産品と言えば、「うれしの茶」が有名です。秀吉が愛した「茶の湯」に直接の結びつきはないようですが、約580年前から栽培が始まったという「うれしの茶」は、全国茶品評会で日本一を受賞するなど品質は折り紙付き! 街中には「うれしの茶交流館 チャオシル」なんて施設もあるくらいで、お気に入りの焼き物で「自

分好みのティータイム」が素敵です。

まち歩きで疲れたらやっぱり温泉。当時の「大坂」にも、遠からぬ緑のシーボルトの名を冠した「シーボルトの湯」は、嬉野温泉の公衆浴場で綺麗でオシャレな施設です。さらに……ちょっと驚きですが武雄温泉には、秀吉が記した朱印状「湯泉掟書(1592/文禄元年)」が現存し、「秀吉に愛された名湯」として親しまれています。ここの「元湯」は木造の共同浴場として日本最古の歴史を誇ります。さらに忘れてはならないことは、嬉野温泉は「美肌の湯」、武雄温泉は「美人の湯」と呼ばれており、ともに肌にいい泉質なんですよ!

大阪から佐賀は考えていたよりも近く、秀吉(大阪)つながりの物語が興味を引いた。山海の美味も「お待ちしています」とのことだった。

# 浪花百景歳時記

## 藤波麗しく咲き乱れた名刹

「北之大融寺」歌川国貞画

太融寺は「藤の花」でも知られた名刹である。壮年世代の馴染みでは、ラジオの人生相談などで活躍された女性画家・融紅鸞（一九〇六〜八二）とも関係深い。

進行ナビゲーター 大阪大学教授 橋爪節也



本堂の向こうに見える北摂の山並みをも呑みこんだかのような巨大な門。まるで風景を切り取る額縁です。

舞台は阪急梅田駅の南東、扇町通を東にしばらく歩くと右手側に見えてくる太融寺です。弘法大師ゆかりの高野山真言宗のお寺で、弘仁十二（八二二）年にその歴史が始まったとされています。

太平洋戦争によって焼失する前の伽藍を『摂津名所図会』（一七九八年刊）の挿絵にうかがうと、当時の境内は広大で、門から本堂まではかなりの距離があり、参道の左には支柱がある大きな松や石灯籠が、右には「藤波麗しく咲き乱れる巨大な藤棚が描かれています。『浪華の賑ひ』（一八五五年刊）も「堂前には藤の棚の茶店」があり、名におふ浪花の古寺といふべし」と評します。

「浪花百景」の太融寺にもどると、この絵の特徴は、画面の45%を門が占める奇抜で力強い構図です。屋根は瓦葺きで、軒丸瓦には雲や渦のような文様が彫られています。門に掲げられた扁額には、「融」と「寺」の字が見えます。画面左下にある板元（出版元）を表す「石和板」という

大阪大学大学院文学研究科（美術史） 小野 雄希

短冊形は柱にびつたり位置にあり、参詣者が記念に貼る千社札のようです。門は丹色に塗られ、日光が当たりやすい外側を内側よりもやや薄くすることで立体感が生まれています。

巨大な松と本堂の間からは桜の花が覗いているので、季節は春でしょう。遠景に目を移すと、山は黒く陰り、稜線からは黄から橙色の光が覗いているため、時間帯は夕方の方です。

参道には帯刀した若侍や母娘、老夫婦と思しき人物が描かれ、幅広い世代の憩いの場であったことが伺えます。人物は細く小さく、それだけに門の大きさが際立ちますが、よく見ると一番奥の人の顔に肌色がほどこされていたり、こちらを向いている人物の目鼻が点で描かれていたり、細部まで描写されています。また身振り手振りからは、それぞれが境内の景色を楽しんでいる様子が伝わってきます。

桜が過ぎると、今度は藤の季節がやってきます。麗しく咲き乱れた様子も見えたかったなあ。茶店で飲むお茶はきつと格別。老若男女が思い思いに時を過ごしたのでしょう。

## 編集後記

今号で第4号となりました。地域に愛される大淀コミュニティセンター、北区民センターの情報と、この街「キタのまち」の情報が混ざりあった「遠近感のある紙面づくり」を心がけていますが、まだまだの感も否めません。今後はトピック情報などにも挑戦し「キタのまち」の知っているようで知らない「こぼれ話」や「あんなこと・こんな話」もご紹介したいと考えています。ご期待ください。

■編集・発行：北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室

■指定管理者：一般財団法人大阪市コミュニティ協会

■発行 月：7月・10月・1月・4月の各月下旬発行

北区民センター 〒530-8401 大阪市北区扇町2-1-27  
✉ kitakumin-center@abelia.ocn.ne.jp

大淀コミュニティセンター 〒531-0074 大阪市北区本庄東3-8-2  
✉ oyodo-comini@abelia.ocn.ne.jp

# キタのまちのニュースレター

## 五感を刺激し感性を磨く! ～未来の子供を育む!! こどもまなびフェス～

約3年間にわたって猛威を振るっている新型コロナウイルス。その間に子どもたちの教育環境に与えた影響は計り知れません。そこで私たちは「未来を担う子どもたちのこれからの学び」をさまざまな角度から考えました。その中で長年、北区民センターや大淀コミュニティセンターを利用されている「さくら将棋部」や、北区内で活動されている「ゆう工房」といった方々にご協力いただき、「楽しみながら未来に夢を持てる子どもを育む」ことを目指すことに決めました。それが「こどもまなびフェス」です。「心」や「身体」そして「脳」が大きく成長する子どもたちの五感を刺激し、未来への一歩を踏み出すきっかけや指針となる羅針盤のようなフェス。今回はその内容を5つのテーマに分けてご紹介いたします。

### 1 「あたまを使う」将棋

歴代の記録を塗り替えるなど大活躍中の藤井聡太棋士は、5歳の夏に母方の祖父母から将棋を教わったそうです。将棋は、社交性にも関わる『右脳』をたっぷり使うと言われています。『右脳』を使うことで「ストレス解消効果や感覚が養われる」など、さまざまな効果があるとも言われ、発想力や協調性を自然と鍛えられることも将棋の魅力です。



### 2 「身体を動かす」ダンス&体操

運動することで脳が活性化され、物事に対する考え方や受け止め方がポジティブになるとともに、ストレスを軽減させる効果があり、感情の起伏をコントロール出来るようになったり、自制心が育つとも言われています。

また、子どもたちにとって大切な体作りも目的としています。親子でも子ども(5歳以上の年齢が対象)だけでも楽しめるダンスやストレッチ、柔軟などを取り入れた体操を実施します。



### 3 「音楽を楽しむ」手作り楽器のワークショップ&ミニライブ

音楽教育を受けた子どもは、情緒や知能が発達し、決断力や集中力が向上したと研究で明らかにされており、絶対音感とは5歳までの間に始めると習得しやすいと言われています。そこで牛乳パックを使った楽器を手作りしていただき、その作った楽器でプロのミュージシャンと一緒に演奏してもらえます。もちろん作った楽器は、お持ち帰りいただけます。



### 4 「芸術に触れる」陶器の絵付け体験

子供の創造力と好奇心を育て、自己表現力や自己肯定感を高めると言われる芸術。まず素焼き生地に鉛筆で自分の好きなデザインを描いていただき、その後に着色をしてもらいます。世界に一つだけの「はしおき」や「カップ」が45分で完成。後日、焼付を行い、北区にあるゆう工房か、北区民センターへ受け取りに来て頂きます。



### 5 「教育を考える」子どもの食育

食育は生きる上での基本であり、知育・徳育・体育の基礎ともなり、健康的な生活習慣や食事のマナーが身につくなどメリットの多い分野だと言われています。

野菜ソムリエ上級プロ・立花尚子さんを迎えて「野菜と仲良くなろう!」をテーマに、クイズを交えながら楽しくわかりやすくお話をさせていただきます。お子さんが野菜好きになってもらえるようお役立てください。



これら5つの内容で五感を刺激し、未来を担う子どもの感性を磨く事業として開催します。ぜひ親子でお越し下さい。開催の詳細は、北区民センター・大淀コミュニティセンターのホームページを御覧ください。

#### キタのまちのニュースレター ちょっとだけプラス

第1号発行から丸々1年。この間の課題に「SNS 対応」がありました。そこで、イベント等のタイムリーな案内にも役立てる「キタのまちのニュースレター ちょっとだけプラス」というホームページをつくりました。各号バックナンバーで読むことができます!ぜひアクセスしてみてください。



## 扇町マナビバの試み

健康フィットネスでの健康づくりと  
新たなコミュニティ

大淀コミュニティセンター講習会 講師 吉中 康子



1983年新設の大淀コミュニティセンターの初回講習会を依頼され、今年で40年目に入ります。当時、参加者の主流は、30～60歳代でしたが、今は60～80歳後半の方が元気に参加されています。新型コロナの影響で一時は教室閉鎖もありましたが、50人前後の方が「音楽体操・筋トレ・ストレッチ」を楽しみ、家族のような交流の輪が広がっています。

驚くのはフィットネス講座参加者の若々しさです。昔は老人といわれ、現在は高齢者といいますが、今の高齢者は昔の高齢者より、10歳以上若いとさまざまな文脈で紹介されています。「高齢者に関する定義検討ワーキンググループ報告書」(日本老年学会・日本老年医学会:2017年3月)では、日本の65～74歳では心身の健康が保たれており、活発な社会活動が可能なが大多数を占めているそうです。また、各種の意識調査で従来の65歳以上を高齢者とするに否定的な意見が強くなっているなど、75歳以上を高齢者とする新たな定義が提案されました。確かに、80歳代でも健康フィットネス参加者の姿勢は美しく、歩く速度も速く、社会参加される方も多いのは嬉しいことです。

さて、「脚は第2の心臓」といわれ、全身の筋肉の3分の2は下半身に集まり、歩行やランニングをすることで、下肢の静脈血を筋肉で圧迫して心臓に戻しています。ところが、2020年以降、新型コロナの影響で高齢者の1日の歩数は激減、運動不活発からのうつ傾向を訴える人も増えました。青葉の美しい季節なので、散歩をすることから運動不活発の脱却をしていただきたいところですが、ウォーキングでは前脛骨筋しか使いません。そこで、教室の皆さんには人生100年時代はフィットネスを常備薬にしようと声を掛けています。全身の筋肉を使うような運動、例えば体操・筋力トレーニング・ストレッチなどをすることが健康増進・健康長寿の特効薬となります。

健康フィットネスでは科学に裏付けされた「介護予防・健康増進プログラム」を楽しく実施しています。長年高齢者の体力を観察し、お元気高齢者もいれば、虚弱高齢者もいるので、低体力の方でも楽しめるプログラムです。また、教室では特に筋量と筋力の低下予防を重要ポイントにしています。特に筋力は40歳以降、1年に1%低下し、70歳では30%も低下します。また、寝たきりになると1日1%程度低下するといわれていますので、1か月寝たきりだと、30%低下して歩けなくなってしまいます。体力には筋力、調整力、持久力、柔軟性、平衡性(バランス力)、瞬発力などがあり、これらの維持や低下予防が健康長寿につながるだけでなく、新たなコミュニティの輪が広がります。今からでも遅くはありません、健康フィットネス教室にお越しください。

## ツキイチ屋台から

## まちで学ぶ・まちから学ぶ

建築家・ツキイチ屋台女将 岸上 純子

設計事務所(兼自宅)を商店街のど真ん中に開いて早5年。そのことで、まちの面白さや楽しさをより感じるようになりました。例えば、思いがけない人との出会いや、思いがけない出来事との遭遇です。保育園児らが物珍しそうにのぞき込み手を振って来てくれたり、空き店舗を見に来た人と共通の知り合いがいたり、ほろ酔いのおじいちゃんが自転車でコケたのを助けに行ったら、そのまま家にお茶に誘われたり(笑)。

ここで生活をしていると、老若男女、暮らす人・働く人・学ぶ人さまざまな人たちと出会います。そんな出会いができるのは、このまちが都市の効率性や見せ方のカッコよさだけでできた、超高層のオフィス空間や商業施設ではないからだと思っています。

家の前の道を掃きながら他愛のない話をするような関係性や、古びたまちなみのあちこちで小さくても新しい試みが見え隠れしていると、個人の思いや考え方が飛び込んでくるようで、私にはとても魅力に感じるのだと思います。一長一短はあるのでしょうかが大資本にはできないことだと思っています。

働いたり住んだりプラスして、実は「学びの場」が、とても大切なんじゃないかと最近思っています。

現在、大阪市内に立地する大学は少数です。これは、昭和38/1963年に工場等制限法というものが制定され(平成14/2002年撤廃)、大学と工場の新增設が原則禁止になったため、大学の多くは郊外に立地してしまっています。大学と工場が同じ扱いって驚きですね。大阪都心でもサテライト型のキャンパスは増加しつつありますが、その多くは社会人向けであり、本格的な回帰にはなっていません。

私自身、郊外キャンパスの大学に通っていたので周りは学生ばかり、その楽しさも知っています。けれど、今、多様な人と接し「まちなか体験を通じて学ぶこと」が、とても大切なのではないかと感じています。コロナでオンライン授業が進み、キャンパスへ行く必要性が減りました。でも、「まちなか体験」はオンラインでは学べない生きた学びです。

冒頭に書いたように、「まち」には多くの思いがけない人との出会いや、思いがけない出来事があり、さまざまなチャンスにも出会えるキッカケがあります。それをリアルに体験する学びから、新しい時代への行動を起こすことに魅力を感じています。

まちなかで、家族以外の人たちに囲まれ、多様な価値観にさらされながら成長することは、小さな子供にも広い視野を育むきっかけになりそうです。

「まちで学ぶ・まちから学ぶ」そんなまち暮らしはいかがでしょうか？

# キタ歩き日本旅



熊本の巻

「大阪駅前ビル」には、47都道府県のうち約半数にもなる日本全国の「道府県事務所」がオフィスを構えています。少し大きさに表現すると『日本が大阪駅前ビルに勢ぞろい!』の風情です。SNS万能の時代ですが、全国各地の旅や物産の様子が「人肌感覚」で知ることができます。この連載は、旅する感覚で北区の大阪駅前ビルを訪ね教えていただいた情報です。大阪駅前ビルの歴史も魅力的!「わが町の旅」としていかがでしょうか。



鉄橋を渡る観光列車「田園シンフォニー」(くま川鉄道公式ホームページより)

今回は熊本県大阪事務所、観光・物産チームの中山さんを訪ねました。

大阪は北区(都心)に流れ込む淀の流れから「水の都」と形容されます。雄大な阿蘇山の姿から熊本県は「火の国」と考えていました。ところが、中山さんから思っても見なかった意外な話が飛び出しました。「熊本は「水の都」でもあります」と。いきなり「水都・大阪」との共通点が挙がりました。さて、その心とは?

例えば、県都・熊本の水道水は知る人ぞ知る天然水。「蛇口からズバリ!ミネラルウォーター」が出てきます(熊本市HPに「水道水は100%地下水」と紹介されている)。また、自然湧水の数も県土全体でなんと千を超えます。まさに「水都」です。

そんな中でも、大阪が生んだ作家・司馬遼太郎さんが「日本でもっとも豊かな隠れ里」と評した人吉球磨地域は、水によってもたらされた豊かさが魅力です。

人吉球磨は、美しい山々に囲まれた盆地でそこから良質の水が流

れ出し、清流・球磨川を育み、そのことから良質の米が収穫されてきました。その豊かさは鎌倉時代から明治維新までの間、700年にもわたる同じ領主による安定した治世をもたらし、「相良氏700年」と称される歴史と文化から、水都ならではの「ものづくり」も誕生しました。良質の米を原料に育まれてきた「球磨焼酎」です。

この歴史は約500年前、室町時代に遡ることができ今現在も球磨川沿いに、なんと27もの蔵元が本格焼酎「球磨焼酎」を造り育てています。この歴史から1995年には「地理的表示の産地指定」を受け、球磨焼酎はまぎれもない「ニッポンブランド」となりました。地理的表示の産地指定では、フランス・コニャック地方で生まれるコニャックなどが有名ですが、芳醇で腹都としたほのかな甘味をたたえる球磨焼酎は「米の国」ニッポンの代表選手です。一度そのマイルドさを味わってみてください。

お話は鉄道の話に移り…… JR肥薩線を走り抜ける「SL人吉」(い

さぶろう・しんべい)「かわせみやませみ」は大人気の「旅の友」です。ところが残念なことに令和2年7月の豪雨被害の影響で現在、九州の他区間で運行されています。ただし、その名もズバリ「くま川鉄道」は力強く復旧し、昨年秋から部分運行を再開しています。

大阪市北区は大阪駅や梅田駅に代表される幹線鉄道の名所ですが、ローカル線の沿線文化を楽しむ熊本の旅は一味違う「水都の旅」です。いかがですか?



球磨川沿いに勢揃いの球磨焼酎。「くまモン」も見える(球磨焼酎酒造組合提供)

# 浪花百景歳時記

大阪大学 人文科学研究科 芸術学専攻  
日本東洋美術史学 博士前期課程一年

杉ノ原朋加

## 夏の遊びは難波橋

「浪花橋夕涼」一珠斎画員画

「浪花三大橋」をうたわれた難波橋。反りが川面から一丈二尺五寸（三・八メートル）あり、橋の真ん中は展望台のように見晴らしが良かった。その夕涼みのたのしみは……

進行ナビゲーター 大阪大学教授 橋爪節也



「お前のふんどしが赤で俺のんは白。舟の舳へ出て源平踊りちゅうのんをやるうやないかあ」  
「こりやおもろいおもろい。おちよやん、三味線弾いてくれえ」  
ア、コリヤコリヤ、コリヤコリヤ♪

風情漂う絵の情景とはかわって、ご機嫌に踊り出す二人。上方落語「舟弁慶」の喜六と清八です。二人は夏の夜、難波橋近くに浮かべた舟上で宴会を開き、飲めや歌えやのどんちゃん騒ぎ。ふんど

しを源氏の赤旗、平家の白旗に見立てます。今回の舞台は、そんな人々で賑わっていた幕末の夏の難波橋です。

「浪花橋夕涼」には難波橋付近の料亭や舟で宴会を楽しむ人々が描かれています。現在「ライオン橋」としても親しまれるこの橋は、江戸時代は一筋西側に架かっており、花火や舟遊びなど涼を求める人々で賑わう一大観光地でした。画面にも、橋脚の間を進む舟上で宴会を楽しむ人々の様子が大きく描かれています。赤い提灯を掛けた舟内には鯛の煮付けでしょうか、ご馳走が並び、隣舟の舳先にはうちわを手にして夜風に涼む芸者らしき女性がいます。空には火花が上がり、宵闇の「花」として画面を引き締めています。

難波橋の南は北浜。両替商が薨を並べた当時から金融センターです。画面中央に並ぶのが、金融街御用達のような水辺の料亭で、築地（蟹島新地）とも呼ばれ、旦那衆が遊興に繰り出しました。店の灯りに映る影法師も楽しげです。

一方庶民は、橋上の絶景と橋のたもとの出店を楽しみました。難波橋の中央は四方に視界を遮るものが何もなく、「浪華の賑ひ」（安政2年）では「瞻望佳景なり」と称されています。画面左奥には天神橋が、正面奥には大阪城天守閣が望まれ、開けた景色であったことがわかります。画面には描かれませんが、橋の両詰には甘酒や豆茶、按摩などの出店が並びました。

現代の難波橋には水上バスが往来していますが、昔の優雅でんびりした遊山船の賑わいは、この絵や落語で今に伝わっています。幕末の情景を思い浮かべて川沿いを散歩すると、喜六と清八の笑い声が風に乘って聞こえてきそうです。

## 編集後記

温かい季節になると大淀コミュニティセンターの花壇には、彼岸花とユリの花を合わせたような不思議な花が咲きます。調べるとアガパンサス（紫君子蘭）という花で、原産は南アフリカとのこと。「暑い時期に咲くわりに、涼し気な薄紫だな」と一人で感心してしまいました。変化が多く目まぐるしい時期ですが、身近なところに目を向けると思わぬ心の安らぎがあるかもしれません。本誌もその一助になればと思うばかりです。

■編集・発行：北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室

■指定管理者：一般財団法人大阪市コミュニティ協会

■発行月：7月・10月・1月・4月の各月下旬発行

北区民センター 〒530-8401 大阪市北区扇町2-1-27  
☒ kitakumin-center@abelia.ocn.ne.jp

大淀コミュニティセンター 〒531-0074 大阪市北区本庄東3-8-2  
☒ oyodo-comini@abelia.ocn.ne.jp



## かみしめて楽しむ「文化のつどい」

11/12(土)、13(日)大淀コミュニティセンターで「文化のつどい」が開催されます。昨年、一昨年は新型コロナの影響で中止になってしまいましたので、3年ぶりの開催です。この会館をホームグラウンドに日々、お稽古に励まれている「お茶」「生花」「水彩画」「和太鼓」の発表会のお楽しみの



他、今年は趣向を凝らした出し物を計画しています。その企画は〈発見/うちのまち〉と題するもので、大阪大学総合学術博物館と共催します。

「大真面目に」「歴史を探究しつつ」「理屈っぽくなく」「どなたでも気軽におおさかのまちの来歴を楽しみ」「歴史から未来をかみしめる」という企画です。その全容は、同博物館の橋爪節也教授、波瀬山祥子氏の監修を得て、江戸時代末期の大坂をとらえた「浪花百景」を、A0サイズに超拡大し高精細そのままにタペストリーにして展示……さながら幕末をお散歩しながら「私たちが暮らす大阪のまちとの対比を楽しもう!」とする企画です。

名付けて〈発見/うちのまち〉

今年は「浪花百景」(全102点)のうちから40景をタペストリーにして展示します。また、11/13(日)午後には、橋爪教授、波瀬山氏とともに、40景のタペストリーをくぐり抜けるようにしながら、ちょっとした「擬似的『まち歩き』体験」も計画しています。

本邦初の企画ですから、私たちもちょっと不安です。でも、大淀コミュニティセンター・1階ホールでの『まち歩き』ですから天候や足元の不安はありません。老若

男女、車イスの方にも気軽に『まち歩き』体験をお楽しみいただけるのではないかと、ワクワクしています。

橋爪節也教授は、「その道中の陽気なこと!」と、いま密かに『まち歩き』ルートの探索? に余念がありません。

11/12(土)、13(日)大淀コミュニティセンター「文化のつどい」でお会いいたしましょう!



〈発見/うちのまち〉浪花百景タペストリー展では、13(日)の13時と14時半からの2回、大阪大学総合学術博物館の協力で全40景を巡る「道中タペストリー解説」も同時開催します(参加無料)。

### ■北区 文化のつどい 入場無料

日時:令和4年11月12日(土)・13日(日)・

午前9時30分～午後4時30分

場所:大淀コミュニティセンターホール

大阪市北区本庄東3丁目8番2号

TEL 06-6372-0213

内容:舞台発表(フラダンス・舞踊・和太鼓演奏・民舞・新舞踊)

作品展示(草書・手書き・水彩画・道中世進ポスターなど)

【特別展】〈発見/うちのまち〉浪花百景タペストリー展

協力:大阪大学総合学術博物館

お茶席(有料200円)

主催:(一財)大阪市民コミュニティ協会 北区支部協議会

## 大淀&amp;北区民センター便り

聴覚を失って、伝えたい  
努力できる贅沢さ！！

大淀コミュニティセンター講習会 講師 日向 由美子

それは突然でした。

コロナ禍、急に仕事がストップされ、再開後は人数を制限し、レッスンの回数を4倍にしたり、飲まず食わずで踊りっぱなしなど、普通ではなくなったしわ寄せは、商売道具である私の身体を直撃した！！

ある時、電話から何も聞こえなくなり、病院に行くと即入院の宣告。2020～2021年末年始の2週間の入院治療にも関わらず、私は左耳の聴覚を失ってしまったのです。



私の仕事は「健康にアンチエイジングを目指す」ダンスインストラクターです。時代を反映した完璧なうたい文句は、「一生歩ける、怪我をしない健康で美しい身体づくり」「骨盤矯正・クビ作り・美尻・バストUP・体幹力GET!!」「心が元気になる素敵な音とダンスで楽しく汗を流しましょう」。退院後はこの調子の良いキャッチフレーズをもとに、各課題で更に力説するようになりました。なぜなら、改めて健康の大切さを自覚でき、より現実的な感覚でご指導できる自信が出来たからです。

私は大淀コミュニティセンターで、毎週火曜日と隔週金曜に午前10時半からラテンリズムミックスの講座を担当させていただいています。受講生の方々は、前向きな志を共にする方々でそれぞれ個々に集まり、ラテンの曲で気持ちよく汗を流し、楽しくダンスをされています。継続することにより、自然と姿勢の改善など見た目が変わったり、自覚の元、若々しく日々進化されてるようです。

たかが一病息災かも知れませんが、失ってしまった私だから、未だ失ってないなら、取り返しがつくのであれば、手に入れたいものに向かって努力をしてみるものだと思います。

私は退院後、聴覚を取り戻したくて、あらゆる療法に挑戦し、お金と時間をかけましたが、結果的には現在の医療での限界を知りました。次から次へとめげない自分にワクワクし、期待を持って臨んでいました。その分最終日に医師から下された宣告に初めて涙が出て本気で泣きました。この時に覚えた、可能性に向かって努力が出来ると言う贅沢さを皆様のダイエットやアンチエイジングの願いに置き換え、全力で伝えたいと思いました。まだまだ間に合う、今すぐ出来ることが皆様には沢山あります！！

こんな私と一緒に大淀コミュニティセンターのラテンリズムミックスを受講してみませんか？ 無料体験もお待ちしております！！

## ツキイチ屋台から

## まちで学ぶ・まちから学ぶ

建築家・ツキイチ屋台女将 岸上 純子

今回も「学ぶ場としてのまちの魅力」について書きたいと思います。

学びの場って、インターネットの普及によってどんどん変化してきていますよね。学びの場の一つとしての学校では、コロナの影響でオンライン授業は当たり前になりましたし、それ以前からもリアルとネットを融合した学びの場を提供する「※N高・S高」のような広域通信制高校や、地方と都市を行き来し、双方で教育を受けることができる「デュアルスクール」など、学びたい対象や方法・場所などによってさまざまな選択ができるようになりました。

学校という場に限らず、「知りたい・学びたい」と思えばインターネット上にありとあらゆる情報が溢れていて、知りたい情報だけをピックアップすることも容易になりました。

けれど、N高・S高がやはりネット上だけでなく、キャンパスを持ちスクーリングをしていることや、デュアルスクールも都市での学びを残していることからみて、やはり「都市＝まち」でのリアルな体験は学びの場から「外せない」のではないのでしょうか。

じゃあ、まちでの学びの魅力とは？

隣に誰が住んでいるのかも分からない生活になりがちなマチナカ生活。「他者と関わらない」それも一つの都市生活の魅力なのかもしれません。でも、ちょっと話してみたら近所さんが実は有名なアーティストさんだったり、誰もが知っている会社の経営者さんだったり、超人気料理店のシェフだったり、一見難しそうな研究をととても分かりやすく説明してくれる研究者さんだったり。はたまた、生まれた時からその街に住む生き字引のようなおじいちゃんだったり、とにかく海外旅行が好きで外国文化にめちゃくちゃ詳しい人だったり、子育ても家事も楽しくこなすスーパー母ちゃんだったり。

そんな人たちから、芸術の話、経営・経済の話、料理の話、科学の話、まちの歴史、外国の話、家事の秘訣を聞くような学びって、とても魅力的だと私は思います。

ツキイチ屋台をやっているとそんな人たちと出会い、出会いの中で学びが自然と湧いて出てきます。それこそ生きた学び、消費され尽くすことのない魅力です。

みなさんもまずはお隣さんを知るところからはじめてみませんか？

※新しい運営スタイルの通信制高校（私学）。NとSで別々のキャンパスがある。両校で2万人以上の生徒数で（2022年6月現在）、高校では日本一の生徒数といわれている。



# キタ歩き日本旅



鹿児島県  
の巻

「大阪駅前ビル」には、47都道府県のうち約半数にもなる日本全国の「道府県事務所」がオフィスを構えています。少し大きさに表現すると『日本が大阪駅前ビルに勢ぞろい!』の風情です。SNS万能の時代ですが、全国各地の旅や物産の様子が「人肌感覚」で知ることができます。この連載は、旅する感覚で北区の大阪駅前ビルを訪ね教えていただいた情報です。大阪駅前ビルの歴史も魅力的!「わが町の旅」としていかがでしょうか。



早春の仙巖園

鹿児島県大阪事務所・観光物産課の松尾さんを訪ね、鹿児島県の「ものづくり」の歴史についてお話をお聞きしました。

なぜ「ものづくり」かといえば、大阪市北区は今でこそ大阪都心のビジネスと商業文化の中心ですが、天満の造幣局で英国の最新技術を導入し(以下、HP「造幣局の歴史」から抜粋)当時、画期的な洋式設備で貨幣製造を開始(明治4/1871年)したと記され、製造に必要な諸設備もすべて近所で賄ったとも紹介されています。

硫酸、ソーダ、石炭ガス、コーキスの原材料系やそれらを効率運用するための電信・電話、さらに事務関連では自製インクや複式簿記の導入。関連産業のガラス工業。文化面では断髪や洋服着用などもいち早く取り入れた地域であったと記述があります。

なるほど! 歴史ある洋服屋、写植や印刷屋、ガラス工業に関連する町工場が数多くあったこと

は、そう遠くない北区の記憶……鹿児島県では、そのような「まちの記憶」を、『近代日本発祥の地』としてビックリするほど未来的に歴史遺産を活用されています。以下、松尾さんのお話です。

それらは「明治日本の産業革命遺産/製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として、日本各地の産業革命遺産とともにニッポンを代表する世界文化遺産となっています(2015年)。

鹿児島県の構成資産「旧集成館」は、日本最古の工業地帯の跡地です。イギリス人が生活した鹿児島紡績所技師館(通称異人館)や、島津家の大名庭園「仙巖園」の一部を含む広大なエリアで、ゆったり学びながらの観光が出来ます。

とのこと……そういえば……アフターコロナの観光新時代には、歴史という大きなスケールで「地域を楽しむ穏やかな観光」が重要ではないかと注目されているそうです。そのような視点で見てみる

と鹿児島県はニッポン観光のトップランナーなのかもしれません。

歴史の佇まいを現代の大阪に感じることには困難ですが、大川沿いや中之島を中心に全国諸般の蔵屋敷があった名残や(土佐堀川・肥後橋など水辺に数多い)、与力・同心という歴史を感じる地名も北区に現存します。

鹿児島県に「穏やかな観光」を学んでみたい……そんなことを大阪駅前第1ビルの鹿児島県大阪事務所で感じた次第です。



旧集成館「旧鹿児島紡績所技師館」(異人館)

写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟

# 浪花百景歳時記

大阪大学大学院文学研究科(美術史)

小松亜希子

目に飛び込むのは猛禽類の空中戦、足にねずみを掴んで、何チューこった…!

「天満市場」歌川国員 画

一つの絵で風景画と花鳥画を兼ねる歌川派得意の構図だが、これぞ英語で言う "bird's-eye view" (鳥瞰図)。大川には、今もいろいろな鳥が棲息しているのだ。天神橋付近でバードウォッチングするのもいいかも。

道行ナビゲーター 大阪大学教授 橋爪節也



橋爪が何本連なっているのか、眼下に長大な天神橋が伸びて大川には船が行き交い、向こう岸の天満市場へとたくさんの人が往来しています。手前には高瀬舟や三十石船が、川岸では荷下ろしが行われているようです。画面中央の山は、観音岩で有名な交野山でしょうか。花鳥画と風景画が一つの画面で楽しめる歌川広重お得意の構図を、国員が試みています。

「天満市場」と聞くと、天神橋筋界隈にお住まい

の方は北区池田町にある「ぶららてんま」を思い浮かべるかもしれません。市場は大坂の陣以降、京橋にありましたが承応二年(一八六六)に天神橋と天満橋の間に移転、幕府の保護を受けた青物卸売市場でした。昭和六年(一九三二)に大阪市中央卸売市場に吸収されるまで大坂における青物流通の中心地であり、木津・難波・伏見といった近郊から和歌山まで、様々な産地の蔬菜や果物を求める人で賑わいました。

大坂の名所案内記『浪華の賑ひ』(安政二年・一八五五刊行)によると、初春の若菜から年の暮れの大根まで季節の旬の青果が取引され、秋には松茸・栗が、冬の夜市には蜜柑などが並びました。全国の名産を紹介した『日本山海名物図会』(寛政十一年・一七九九刊行)の「天満市側松茸市」には、摂州能勢、勝尾、丹波などから集まった松茸を松明で照らしながら、多くの人が競りに集まる様子が描かれています。「浪花百景」の空中戦は、旬の青果を巡る仲買人たちの競りの勢いを、鳥たちの姿に託しているのかもしれません。

現在、市場の跡地は桜の名所でもある南天満公園となり、「天満青物市場跡」の石碑が建っています。近くには京都・伏見・大坂間を往来する船頭たちの舟唄が刻まれた「淀川三十石船舟碑」が、対岸には「八軒屋船着場の跡」石碑があり、水運・流通の要所として繁栄していた当時の面影を偲ぶことができます。松茸や栗が旬を迎えたこの時期、松明で煌々と照らされた天満市場を思い浮かべ、江戸時代の食欲の秋を感じてみるのもまた一興です。

## 編集後記

今号で「突発性難聴」のことを記された大淀コミュニティセンター・ラテンリズムミックの日向先生に驚きました。私と全く同じだからです。朝起きたら片方の耳が聞こえず→近所の耳鼻科から大病院の耳鼻科・ステロイド治療。その後の経過もまったく同じ。「突発性難聴」はある日突然、しかも治療効果が上がらなかった場合はその後もしんどい日々が続きます。その体験談に勇気が湧きました! ありがとうございます。

■編集・発行: 北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室

■指定管理者: 一般財団法人大阪市コミュニティ協会

■発行 月: 7月・10月・1月・4月の各月下旬発行

北区民センター 〒530-8401 大阪市北区扇町2-1-27  
✉ kitakumin-center@abelia.ocn.ne.jp

大淀コミュニティセンター 〒531-0074 大阪市北区本庄東3-8-2  
✉ oyodo-comini@abelia.ocn.ne.jp



## 絵本から広がる未来の風景

大淀コミュニティセンターでは2/22（水）午後1時～午後4時、年恒例の「ふれあい絵本ひろば」を開催します。また、例年通り「人形劇」の上演もお楽しみいただけます！（詳細は右下案内を参照）

新型コロナウイルスが世に出てきてしまったことで、互いに注意が必要ですが、この企画を主催する私たちも「開催できること」に感謝し、スタッフ一同心からご来場をお待ちしています。



「はなし画」審査風景（2022.12.11 大淀コミュニティセンター）

さらに今年は、「落語の物語（噺・はなし）」から着想を得て描く「はなし画<sup>※</sup>」の展示もあります。これは私たちが上方落語協会と一緒に企画し、毎年開催する「落語と絵本のアンニャーレ／2022年」の応募作品です。

その第2回目の今回は、北区エリアの専門学校や地域の絵本教室の皆様から力を込めた作品が届きました。全応募50名中（それぞれが「3点の連作」で応募した）150点の「はなし画」を展示する予定です。もちろん「絵本広場」と同様、万全のコロナ対策を施し、かつ、展示エリアの区画を厳格に区切り1階ホールに集約展示しています（公開は午後1時から午後4時）。

コロナ禍による日常生活の様々な制約が3年にもおよび、ついに4年目に入ります。つらかったこと、くやしかったこと、あきらめてしまったこと、……様々な情景が浮かんできます。でも、広がる未来の風景を「絵本」から共有してみたい。そんな願いを込めました。小さなイベントですが、ぜひ会場にお運びください。お待ちしております。



審査委員長：上方落語協会・会長 笑福亭仁智さん

### ■ふれあい絵本広場 入場無料

日時：令和5年2月22日（水） 13時～16時

場所：大淀コミュニティセンター・ホール

大阪市北区本庄東3丁目8番2号

TEL 06-6372-0213

内容：会場では様々な絵本を手にとりいただけます。

次のプログラムもお楽しみいただけます！

・グループ ケロちゃんによる人形劇

・助産師さんによる「ベビーマッサージ」

（和室へ事前申し込み優先）

・「落語と絵本のアンニャーレ／2022年」

※落（落語）から誕生する“はなしの絵”『はなし画』展示  
詳細：【大淀コミュニティセンター】の公式ホームページを検索しご確認ください。

主催：（一財）大阪市コミュニティ協会 北区支部協議会

## 大淀&amp;北区民センター便り

地域で赤ちゃん時代からの  
子育てを盛り上げたい

びよまガーデンズ ふじたまゆみ



2019年に新型コロナウイルス感染症が広がり、緊急事態宣言が発令される前の2020年3月まで、親子の絆づくりのベビーマッサージ教室、赤ちゃんが食べる発達手順を踏んでいく離乳食教室などを北区民センターで運営していました。この教室運営と別に、北区でご出産された赤ちゃんとそのご両親のための助産師派遣事業「新生児訪問」を6年経験しており、地域への関わりを同時に携わっていました。

私は助産師という、「赤ちゃん」という「人」のことを知り、また女性のライフサイクルに寄り添うことも職業としている立場なので、子育て相談等も、ベビーマッサージなどで応答する機会がありました。

そういった中で、主観的ではありますが北区の地域の特性として、もともと地元が北区在住という方が1〜2割ぐらいで、ママパパのお仕事関連で北区に在住されている方が大半という印象があります。その事情を鑑み、子育てが各ご家庭の中だけでなく、地域でもっとつながっていく必要があると実感していました。

しかし近所に知り合いが少ないママパパ(以下代表としてママとします)が、地域の同じくらいのママと知り合いたくても、目的なく集まるというのは地域になじみがなくシャイなママには腰が重い。そこで親子の触れ合いを同時に学べ、おうちでも活用できるベビーマッサージはならば、一石二鳥であり、ぜひ持ち帰りたいと思っていただけるよい機会なのです。ベビーマッサージは地域の人とつながるとても有効な手段の一つと言えると思います。

そして私は現在、2018年より「ふれあい絵本ひろば」の中で「助産師さんが教えてくれるベビーマッサージ」で参加させて頂いています。簡単にでき、覚えやすい量の手技を学びながら、一緒に参加されるママたちのお話を聴き、「うちもそれあった」「そんなこともあるのか」「助産師さんの話が聞ける」など、地域のママと繋がれるコミュニティの場としても、ぜひご活用していただきたいです。

## ツキイチ屋台から

## つながりで守られるまち

建築家・ツキイチ屋台女将 岸上 純子

日々の生活をしていく中で、みなさんもなんらかのコミュニティには属されていると思いますが、地域コミュニティには「属して」いますか？

最近、様々なところで地域コミュニティ醸成の活動が行われたりしています。お祭りをやったり、イベントをやったり。楽しいことを共有しながらコミュニティを作っていく。それはとても大事なことだと思います。けれど、そもそもなぜ地域コミュニティが必要なのでしょう。

正直、「地域コミュニティ=近所付き合い」は面倒なことも多いかもしれません。近所付き合いしたくないから都会に住んでいるのに。という人も少なくないと思います。

楽しい反面、面倒でもある地域コミュニティ。でも、その必要性が一番求められているのが「防災」に関してです。

先日、神戸の「人と防災未来センター」に見学に行ったときに聞いた話なのですが、阪神淡路大震災の際、淡路島では、家屋の下敷きになった人たちの9割が、地震発生後24時間以内に近所の人たちの手によって助け出されたそうです。それと比較して神戸で救出された人は3割だったとか。その差は何にあるのか。

答えは、淡路には近所の家の間取りまで知っていて、その住人がいつもどの部屋で寝ているかまで知っているほどのコミュニティがあったから……なんだそうです。だから、がむしゃらに掘り起こすのではなく、ピンポイントで寝ている場所を探すことができた。それが決定打となり、短時間にたくさんの人が助け出されたそうです。

これを聞いて、そうかそのために地域コミュニティって必要なんだ！と思ったわけです。もちろん今の都会では、「隣の人がいつもどの部屋で寝ているか」まで知る関係は難しい。けれど、そこにどんな家族が何人住んでいるかを「知ってる」ことくらいできそうです。それだけで、いざという時、助ける・助かる手掛かりになるわけです。

いざという時に助け合えるコミュニティ。そんなコミュニティに、ちょっと「面倒」から一歩踏み出し、ちょっとだけでも参加してみませんか？



筆者の拠点は阪急中津駅に近い「中津商店街」の中の大正2年築の長屋。2017年に購入し2年をかけた住居兼事務所としてリノベーション。専門学校や大学で「建築」を教えています。本文内容はここで生活し活動する「実感」でもあります。



# きたしき日本旅



宮崎県  
の巻

「大阪駅前ビル」には、47都道府県のうち約半数にもなる日本全国の「道府県事務所」が「オフィス」を構えています。少し大きさに表現すると「日本が大阪駅前ビルに勢ぞろい!」の風情です。SNS万能の時代ですが、全国各地の旅や物産の様子が「人肌感覚」で知ることができます。この連載は、旅する感覚で北区の大阪駅前ビルを訪ね教えていただいた情報です。大阪駅前ビルの歴史も魅力的!「わが町の旅」としていかがでしょうか。



バッファローズ・キャンプ風景:間近で見る日本一! 京セラドーム大阪での活躍は宮崎から!!

海から昇る朝日が眩しい宮崎県は、県土の東側が総延長・約180kmもある海岸線。そんな宮崎県のキャッチフレーズは「日本のひなた宮崎県」です。と、教えてくださったのは、宮崎県大阪事務所・企画広報担当の宮之原さん。続けてお聞きしました(黒字部分)。

漢字で書くと「ひなた」は「日向」です。「ひなた」の宮崎は、気候も人もモノ・コトもみんな素朴であったかい。あたたかい気候は豊かな食ももたらしました。古事記によれば、神々が降り立ち様々な神話の物語の舞台となりました。

日本を代表する観光地「高千穂峡」をはじめ、宮崎県の各地に素肌感覚で「神話」が息づいています。ですから、宮崎県の観光は神秘的な一面があります。

ただし、数居の高いものではありません。現に宮崎県の観光パンフレットには「ときめく神もうで」や「恋して、愛して、ぼろり涙もこぼれてた、かみさまたちのものがたり」のような、日常と自然環境のいい関係の「ひなた」がイッパイです。

宮崎市の中心を流れる大淀川の河口近く、宮崎港に着く(新造船が就航した)宮崎カーフェリーは、朝日を浴びた姿が特に美しく、とてもロマンティックです。そういえば……北区には「大淀」という地名があったようですが?

大阪駅すぐ西側、梅田スカイビルがあるところは北区大淀中です。ちょっと昔は、その付近広域が大淀区でした。もちろん淀川は、昔も今も未来も大阪のシンボルです。

宮崎港は宮崎市中心部の近くにあり、宮崎ブルーゲンビア空港も中心部のすぐ近くです。京阪神から宮崎へのアクセスは意外なほど便利です。日本一に輝いたオリックス・バッファローズのキャンプ地は宮崎市清武総合運動公園でJR日豊本線・清武駅(宮崎駅から3駅目)からも近く、大阪からふらっと「バッファローズ・キャンプ」はオススメです。

もちろん、パ・リーグの他球団、カーブやジャイアンツのセ・リーグ球団も宮崎がキャンプ地ですから「ぐるりキャンプ地巡り」も魅力

的!「日本のひなた宮崎県」ならではの旅スタイルです。

「ひなた」は心にもカラダにも優しい。そう。「日本のひなた宮崎県」で、美しい自然、パワースポット、グルメに癒やされて、パワーチャージしなくては……そうだ「ひなた」を旅しよう!



高千穂峡:これぞニッポン観光の名所!



鶴戸神宮 本殿:  
振り返れば日向灘……そのご来光にも感動!

写真提供: 宮崎県大阪事務所

# 浪花百景歳時記

大阪大学大学院人文学研究科  
芸術学専攻 博士後期課程一年

飯田花織

## 見事な桜に ご満悦

「寛満寺之夕景」歌川国貞画

桜の宮をはじめ大川や堀川界隈は桜の名所が連なり、落語でも芸妓、都問を連れた船場の旦那が鶴満寺に花見に押しかけます。

進行ナビゲーター 大阪大学教授 橋爪節也



鶴満寺で知られるお寺ですが浪花百景は「寛満寺」と記しています。北区長柄東一丁目にある天台真盛宗の寺院で、宝暦三年（一七五三）、大阪の豪商上田宗右衛門広久が堂宇を完成させました。左上の色紙形は、山号の「雲松山」のごとく雲の意匠で表され、タイトルの通り真つ赤な夕焼けのなかに白くたなびき一際目立ちます。

枝垂桜の名所として知られる境内の桜は淡い紅色で彩色され、春の日の美しい夕暮れに、今を盛りと咲きおっています。

ですが、本図で真つ先に目を引くのは、寺の名物

である枝垂桜よりも放射状に青々と伸びる五本の竹ではないでしょうか。手前に大きくしなつた竹を配し、画面奥に控えめに桜を描く構図には、芳雪の抒情的な美意識が見て取れます。竹の濃い緑と薄緑のはっきりとした色面分割は、なかなかモダンです。

空は上部の黒色から灰色、水色、白とグラデーションで彩られています。「夕景」と聞くと暖色に染まる空を連想しますが、芳雪はあえて寒色のグラデーションを用いることで桜色を引き立てたかったのかもしれない。夜の帳が下りてくる寸前、まだ薄明るいひとときの夕景です。紫の着物を纏い左上を見上げる男は旅する僧侶でしょうか。この時はかりは寺の桜に心惹かれて

いるのでしょうか。本図には籠を持った水色の着物の娘と寺門に立つ簡略化された人物も描かれ、彼らも桜を目当てに來た参詣客かもしれません。かつて桜の木の下には観音百体が祀られていました。明治十八年（一八八五）に起きた淀川洪水により流され、現在は見る事が叶いません。

しかしながら、本寺には今も慈覺大師作との伝承がある阿彌陀如来像が安置され、大阪府指定有形文化財となっています。

竹と竹との間に見える鐘は太平一〇年（一〇三〇）に朝鮮で鑄造されたもので、現在は国の重要文化財に指定されています。夕暮れの空に響く鐘の音を、江戸時代の人々はどのように聴いたのでしょうか。

天神橋第六丁目駅から東へ歩いてすぐ。洪水により失われたものも多い鶴満寺ですが、現地を訪れて浪花百景に描かれた在りし日の情景を想像してみれば、どこからか桜の香りが漂ってくるかもしれません。

## 編集後記

年が明け、大阪・関西万博まで3年となりました。3年前のちょうど「今ごろ」から新型コロナウイルスは広まりました。ですから「3年」という時間推移に、何かしらのリアリティを感じています。千里で開催された70年万博では「コミュニティ・イベント」が花を添える一助になった」とお聞きすることがあります。小さなものですが「絵本の世界」には、そんな可能性もあるように感じます。1ページで紹介した「落語と絵本のアンニャーレ」では、そんな絵本の夢も追いかけています。

■編集・発行：北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室  
■指定管理者：一般財団法人大阪市コミュニティ協会  
■発行 月：7月・10月・1月・4月の各月下旬発行

北区民センター 〒530-8401 大阪市北区扇町2-1-27  
☎ kitakumin-center@abelia.ocn.ne.jp  
大淀コミュニティセンター 〒531-0074 大阪市北区本庄東3-8-2  
☎ oyodo-comini@abelia.ocn.ne.jp

|               |                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.事業名         | 扇町マナビバ マナビバ・フラ・カンファレンス＜環境循環型コミュニティを表現し楽しむ＞                                                                                                                                                                                         |
| 2.事業内容        | フラの学びを高めあうことにより地域コミュニティがより豊かになることを目的とした、“フラでつながるコミュニティイベント”を3月12日に北区民センターで実施した。<br>イベントは二部制で実施し、第一部ではハワイアンスタイルのオープニングに始まり、子どもを中心としたフラのステージ。第二部ではテーマに沿ったハワイアンソングの曲を紹介しながら、生バンドの演奏でのフラダンス。フラを見たことがない方から踊れる方まで、理解を深めることができるステージを企画した。 |
| 3.実施日<br>実施場所 | 〇令和5年3月12日(日) 北区民センター ホール                                                                                                                                                                                                          |
| 4.来場人数        | 延べ約300名                                                                                                                                                                                                                            |
| 5.出演          | ・ハーラウ オ リリノエ/・ハラウ フラ オ カモク オピオ オカラニ<br>・ハラウ フラ オ メハナ                                                                                                                                                                               |
| 6.次年度の<br>展望  | 今年度は前年度よりも来場人数が多く、さらににぎやかなものとなった。たくさんの来場者がある中で、次年度は参加者がもっとフラの世界に入り込めるよう「体験・体感」できる仕組みをイベントに組み込みたいと考えている。また、イベントが地域の新しいつながりの場となるよう、次年度はチラシ・ポスターを活用した広報面においてもさらに力を入れていくことを検討している。                                                     |

#### 添付資料⑨ 当日写真

＜マナビバ・フラ・カンファレンス(3月12日@北区民センター・ホール)＞





|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.事業名         | 浪花百景展示・講演会＜大公園の次世代を考える「扇町マナビバ」フォーラム事業＞                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 2.事業内容        | <p>大阪の昔の風景を描いた「浪花百景」40点(景)を大判タペストリーにし、今と昔の大阪を図版で実感。</p> <p>橋爪節也大阪大学文学研究科教授と大阪大学総合学術博物館の波瀬山祥子さんによるワークショップも開催した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 3.実施日<br>実施場所 | <p>○令和4年11月12日(土)～13日(日) 大淀コミュニティセンター・ホール</p> <p>自主事業の「文化のつどい」と同時開催</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 4.来場人数        | 延べ約50名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 5.協力          | <p>・大阪大学教授 橋爪節也氏</p> <p>・大阪大学総合学術博物館 波瀬山祥子氏</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 6.次年度の<br>展望  | <p>江戸後期の大阪を描いた図版集「浪花百景」の原画(100枚の風景錦絵)を、高精度で大判のタペストリーに施し毎年度ごとに20点(景)程度追加して「企画展示」を実施した。</p> <p>幕末の大阪の町の様子や庶民の姿が生き生きと描かれ、後年の開発と戦災で姿を消した川や橋も多数見られる図版を、来年度は10点(景)を追加。大阪の今昔を知るきっかけの一環とし江戸時代の「古き良き大坂」にタイムスリップしてもらいながら、商都浪花の賑わいとそこで暮らす市井の人々の営みを一瞬の「景」でとらえた『浪花百景』の世界を読み解き、見る人が『今のまちに求められる視点』を検証もらえる糧にしよう。</p> <p>今年度は大淀コミュニティセンターの自主事業である「文化のつどい」と併催することで、イベントに足を運んだ方が気軽にタペストリーを見られるようにした。次年度は、来場者が「今」と「昔」を見比べながらタペストリーを閲覧できるような展示方法の再検討や、施設に足を運んだより多くの方に企画に参加して頂けるように展示期間を拡充するなど、企画内容を精査していく。</p> |

添付資料⑩ 当日写真  
＜浪花百景展示・ワークショップ＞



# 発見!うちのまち 浪花百景タペストリー展

聞いてみなはれ  
その道中の陽気なこと!!  
浪花サウンド

「河堀口」

「広田社」

「さくらの宮景」

「舍利寺」

令和4年 11月12日(土) 13日(日)

午前9時30分～午後4時30分 無料

幕末の大坂の名所を描いた「浪花百景」を巨大なタペストリーに精密拡大!大きくなることでみえるものもあるかも!? 浪花百景に描かれた情景の「音」を想像して「うちのまち」の発見をしてみませんか? 北区文化のつどいと同時開催します。

- 主催 大淀コミュニティセンター/北区民センター  
(一財)大阪市コミュニティ協会/同・都市コミュニティ研究室
- 協力 大阪大学総合学術博物館
- お問い合わせ (一財)大阪市コミュニティ協会  
担当:是枝 TEL 06-6125-3311

## 道中タペストリー解説

13日 ①1時～  
②2時30分～

大阪大学総合学術博物館  
研究支援推進員

波瀬山 祥子 氏

予約は必要ありません。  
時間になりましたらホール  
におこしください。

「キタのまちニュースレター」で人気の「浪花百景通し記」通行ナビゲーター  
大阪大学総合学術博物館  
教授

橋爪 節也 氏

※②のみ参加



## 大淀コミュニティセンター ホール

大阪市北区本庄東3丁目8-2  
■シティバス系統34、37「天神橋八丁目」  
■Osaka Metro 谷町線/堺筋線  
「天神橋筋六丁目」駅  
11番出口から徒歩 約8分